

一般会計等 貸借対照表

(令和07年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	97,387,187,618	固定負債	16,251,036,916
有形固定資産	93,862,827,242	地方債	16,118,639,916
事業用資産	58,509,314,360	長期未払金	-
土地	27,624,626,255	退職手当引当金	132,397,000
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	52,647,183,874	その他	-
建物減価償却累計額	△ 25,191,379,724	流動負債	2,417,239,648
工作物	4,941,870,130	1年内償還予定地方債	1,726,956,248
工作物減価償却累計額	△ 2,465,926,028	未払金	-
船舶	7,820,796	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 7,820,793	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	326,331,620
航空機	-	預り金	359,478,080
航空機減価償却累計額	-	その他	4,473,700
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	952,939,850		
インフラ資産	34,895,367,794		
土地	9,551,391,491		
建物	656,125,282		
建物減価償却累計額	△ 327,370,883		
工作物	70,759,531,528		
工作物減価償却累計額	△ 46,335,830,788		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	591,521,164		
物品	6,868,208,196		
物品減価償却累計額	△ 6,410,063,108		
無形固定資産	144,159,463		
ソフトウェア	112,708,882		
その他	31,450,581		
投資その他の資産	3,380,200,913		
投資及び出資金	238,853,772		
有価証券	90,537,301		
出資金	148,316,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	304,102,755		
長期貸付金	27,592,600		
基金	2,828,866,066		
減債基金	-		
その他	2,828,866,066		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 19,214,280		
流動資産	3,240,784,671		
現金預金	1,404,240,044		
未収金	108,654,725		
短期貸付金	5,700,000		
基金	1,729,830,757		
財政調整基金	1,099,592,223		
減債基金	630,238,534		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 7,640,855		
資産合計	100,627,972,289		
		負債合計	18,668,276,564
		【純資産の部】	
		固定資産等形成分	99,122,718,375
		余剰分(不足分)	△ 17,163,022,650
		純資産合計	81,959,695,725
		負債及び純資産合計	100,627,972,289

【様式第2号】

一般会計等 行政コスト計算書

自 令和06年4月1日
至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	32,328,781,675
業務費用	12,819,301,532
人件費	4,568,807,762
職員給与費	3,447,439,121
賞与等引当金繰入額	326,331,620
退職手当引当金繰入額	-
その他	795,037,021
物件費等	7,496,949,134
物件費	3,937,152,267
維持補修費	214,906,312
減価償却費	3,344,890,555
その他	-
その他の業務費用	753,544,636
支払利息	90,914,203
徴収不能引当金繰入額	55,044,832
その他	607,585,601
移転費用	19,509,480,143
補助金等	8,591,106,310
社会保障給付	8,449,200,585
他会計への繰出金	2,466,108,558
その他	3,064,690
経常収益	480,530,386
使用料及び手数料	215,662,606
その他	264,867,780
純経常行政コスト	31,848,251,289
臨時損失	33,943,660
災害復旧事業費	-
資産除売却損	33,943,660
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	40,050,332
資産売却益	3,839,280
その他	36,211,052
純行政コスト	31,842,144,617

一般会計等 純資産変動計算書

自 令和06年4月1日

至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	82,551,520,024	99,141,907,317	△ 16,590,387,293
純行政コスト(△)	△ 31,842,144,617		△ 31,842,144,617
財源	31,337,562,143		31,337,562,143
税収等	15,919,856,478		15,919,856,478
国県等補助金	15,417,705,665		15,417,705,665
本年度差額	△ 504,582,474		△ 504,582,474
固定資産等の変動(内部変動)		64,319,183	△ 64,319,183
有形固定資産等の増加		3,626,213,007	△ 3,626,213,007
有形固定資産等の減少		△ 3,370,157,965	3,370,157,965
貸付金・基金等の増加		2,210,321,670	△ 2,210,321,670
貸付金・基金等の減少		△ 2,402,057,529	2,402,057,529
資産評価差額	△ 2,415,658	△ 2,415,658	
無償所管換等	△ 83,532,467	△ 83,532,467	
その他	△ 1,293,700	2,440,000	△ 3,733,700
本年度純資産変動額	△ 591,824,299	△ 19,188,942	△ 572,635,357
本年度末純資産残高	81,959,695,725	99,122,718,375	△ 17,163,022,650

一般会計等 資金収支計算書

自 令和06年4月1日

至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	28,927,477,626
業務費用支出	9,417,997,483
人件費支出	4,558,762,850
物件費等支出	4,160,734,829
支払利息支出	90,914,203
その他の支出	607,585,601
移転費用支出	19,509,480,143
補助金等支出	8,591,106,310
社会保障給付支出	8,449,200,585
他会計への繰出支出	2,466,108,558
その他の支出	3,064,690
業務収入	30,103,904,545
税込等収入	15,914,850,001
国県等補助金収入	13,692,340,665
使用料及び手数料収入	215,581,233
その他の収入	281,132,646
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	1,176,426,919
【投資活動収支】	
投資活動支出	5,575,752,423
公共施設等整備費支出	3,626,213,007
基金積立金支出	1,940,834,416
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	8,705,000
その他の支出	-
投資活動収入	3,953,551,831
国県等補助金収入	1,725,365,000
基金取崩収入	2,218,047,551
貸付金元金回収収入	6,300,000
資産売却収入	3,839,280
その他の収入	-
投資活動収支	△ 1,622,200,592
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,754,394,867
地方債償還支出	1,754,394,867
その他の支出	-
財務活動収入	2,035,404,000
地方債発行収入	2,035,404,000
その他の収入	-
財務活動収支	281,009,133
本年度資金収支額	△ 164,764,540
前年度末資金残高	1,209,526,504
本年度末資金残高	1,044,761,964
前年度末歳計外現金残高	320,048,442
本年度歳計外現金増減額	39,429,638
本年度末歳計外現金残高	359,478,080
本年度末現金預金残高	1,404,240,044

全体貸借対照表

(令和07年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	126,028,446,281	固定負債	38,236,004,219
有形固定資産	120,310,921,094	地方債等	16,146,911,209
事業用資産	58,660,688,202	長期未払金	586,158,000
土地	27,723,088,257	退職手当引当金	163,796,871
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	52,682,699,704	その他	21,339,138,139
建物減価償却累計額	△ 25,205,065,649	流動負債	3,543,374,364
工作物	4,985,197,208	1年内償還予定地方債等	1,747,536,461
工作物減価償却累計額	△ 2,478,913,671	未払金	426,506,523
船舶	7,820,796	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 7,820,793	前受金	145,544,800
浮標等	990,000	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	△ 247,500	賞与等引当金	369,425,375
航空機	-	預り金	403,451,378
航空機減価償却累計額	-	その他	450,909,827
その他	-		
その他減価償却累計額	-	負債合計	41,779,378,583
建設仮勘定	952,939,850	【純資産の部】	
インフラ資産	58,696,470,712	固定資産等形成分	127,763,977,038
土地	11,069,332,876	余剰分(不足分)	△ 36,546,786,839
建物	2,030,311,997	他団体出資等分	-
建物減価償却累計額	△ 700,185,064		
工作物	99,888,599,732		
工作物減価償却累計額	△ 55,387,152,304		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	1,795,563,475		
物品	11,739,143,271		
物品減価償却累計額	△ 8,785,381,091		
無形固定資産	145,916,991		
ソフトウェア	114,197,710		
その他	31,719,281		
投資その他の資産	5,571,608,196		
投資及び出資金	239,084,772		
有価証券	90,537,301		
出資金	148,547,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	471,404,176		
長期貸付金	1,245,355,375		
基金	3,653,121,880		
減債基金	-		
その他	3,653,121,880		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 37,358,007		
流動資産	6,968,122,501		
現金預金	4,473,557,784		
未収金	465,780,352		
短期貸付金	5,700,000		
基金	1,729,830,757		
財政調整基金	1,099,592,223		
減債基金	630,238,534		
棚卸資産	8,029,328		
その他	300,919,000		
徴収不能引当金	△ 15,694,720		
繰延資産	-		
資産合計	132,996,568,782	純資産合計	91,217,190,199
		負債及び純資産合計	132,996,568,782

全体行政コスト計算書

自 令和06年4月1日
至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	45,693,485,230
業務費用	16,077,168,783
人件費	5,116,962,636
職員給与費	3,778,046,130
賞与等引当金繰入額	364,578,375
退職手当引当金繰入額	-
その他	974,338,131
物件費等	10,040,965,858
物件費	5,325,295,019
維持補修費	282,519,931
減価償却費	4,364,061,040
その他	69,089,868
その他の業務費用	919,240,289
支払利息	153,140,632
徴収不能引当金繰入額	89,952,655
その他	676,147,002
移転費用	29,616,316,447
補助金等	21,160,186,375
社会保障給付	8,451,259,628
その他	4,870,444
経常収益	2,270,568,856
使用料及び手数料	1,931,845,411
その他	338,723,445
純経常行政コスト	43,422,916,374
臨時損失	36,479,921
災害復旧事業費	-
資産除売却損	36,479,921
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	123,117,283
資産売却益	4,606,230
その他	118,511,053
純行政コスト	43,336,279,012

全体純資産変動計算書

自 令和06年4月1日
至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	91,442,355,052	128,083,453,144	△ 36,641,098,092	-
純行政コスト(△)	△ 43,336,279,012		△ 43,336,279,012	
財源	43,198,355,984		43,198,355,984	-
税金等	20,167,895,311		20,167,895,311	
国県等補助金	23,030,460,673		23,030,460,673	
本年度差額	△ 137,923,028		△ 137,923,028	-
固定資産等の変動(内部変動)		△ 235,967,981	235,967,981	
有形固定資産等の増加		4,566,657,978	△ 4,566,657,978	
有形固定資産等の減少		△ 4,391,097,761	4,391,097,761	
貸付金・基金等の増加		2,349,535,638	△ 2,349,535,638	
貸付金・基金等の減少		△ 2,761,063,836	2,761,063,836	
資産評価差額	△ 2,415,658	△ 2,415,658		
無償所管換等	△ 83,532,467	△ 83,532,467		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
その他	△ 1,293,700	2,440,000	△ 3,733,700	
本年度純資産変動額	△ 225,164,853	△ 319,476,106	94,311,253	-
本年度末純資産残高	91,217,190,199	127,763,977,038	△ 36,546,786,839	-

全体資金収支計算書

自 令和06年4月1日

至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	41,256,390,561
業務費用支出	11,640,074,114
人件費支出	5,107,525,239
物件費等支出	5,702,929,306
支払利息支出	153,140,632
その他の支出	676,478,937
移転費用支出	29,616,316,447
補助金等支出	21,160,186,375
社会保障給付支出	8,451,259,628
その他の支出	4,870,444
業務収入	43,016,478,050
税金等収入	19,530,197,153
国県等補助金収入	21,305,095,673
使用料及び手数料収入	1,815,688,207
その他の収入	365,497,017
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	75,607,902
業務活動収支	1,835,695,391
【投資活動収支】	
投資活動支出	6,454,514,232
公共施設等整備費支出	4,439,320,248
基金積立金支出	2,006,308,984
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	8,885,000
その他の支出	-
投資活動収入	4,935,689,754
国県等補助金収入	2,245,080,198
基金取崩収入	2,299,631,551
貸付金元金回収収入	6,700,500
資産売却収入	3,839,280
その他の収入	380,438,225
投資活動収支	△ 1,518,824,478
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,363,133,409
地方債等償還支出	1,780,969,798
その他の支出	582,163,611
財務活動収入	2,406,104,000
地方債等発行収入	2,406,104,000
その他の収入	-
財務活動収支	42,970,591
本年度資金収支額	359,841,504
前年度末資金残高	3,754,238,200
本年度末資金残高	4,114,079,704
前年度末歳計外現金残高	320,048,442
本年度歳計外現金増減額	39,429,638
本年度末歳計外現金残高	359,478,080
本年度末現金預金残高	4,473,557,784

連結貸借対照表

(令和07年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	132,798,999,830	固定負債	46,712,112,195
有形固定資産	122,743,929,620	地方債等	22,149,613,446
事業用資産	61,089,451,814	長期未払金	589,367,491
土地	28,161,132,205	退職手当引当金	2,631,363,037
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	63,357,990,389	その他	21,341,768,221
建物減価償却累計額	△ 34,315,225,746	流動負債	3,719,151,731
工作物	5,485,340,901	1年内償還予定地方債等	1,885,103,400
工作物減価償却累計額	△ 2,593,142,354	未払金	440,139,624
船舶	7,820,796	未払費用	9,323,301
船舶減価償却累計額	△ 7,820,793	前受金	145,544,800
浮標等	990,000	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	△ 247,500	賞与等引当金	380,364,864
航空機	-	預り金	406,809,362
航空機減価償却累計額	-	その他	451,866,380
その他	50,604,676		
その他減価償却累計額	△ 10,930,610	負債合計	50,431,263,926
建設仮勘定	952,939,850	【純資産の部】	
インフラ資産	58,696,470,712	固定資産等形成分	134,644,962,503
土地	11,069,332,876	余剰分(不足分)	△ 36,960,265,176
建物	2,030,311,997	他団体出資等分	1,000,000
建物減価償却累計額	△ 700,185,064		
工作物	99,888,599,732		
工作物減価償却累計額	△ 55,387,152,304		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	1,795,563,475		
物品	11,804,712,017		
物品減価償却累計額	△ 8,846,704,923		
無形固定資産	281,890,229		
ソフトウェア	117,959,524		
その他	163,930,705		
投資その他の資産	9,773,179,981		
投資及び出資金	229,099,324		
有価証券	90,551,853		
出資金	138,547,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	473,860,450		
長期貸付金	1,247,022,684		
基金	6,449,673,105		
減債基金	-		
その他	6,449,673,105		
その他	1,411,012,470		
徴収不能引当金	△ 37,488,052		
流動資産	15,317,961,423		
現金預金	5,188,893,783		
未収金	475,991,891		
短期貸付金	5,700,000		
基金	1,840,262,673		
財政調整基金	1,210,024,139		
減債基金	630,238,534		
棚卸資産	7,521,912,408		
その他	300,919,000		
徴収不能引当金	△ 15,718,332		
繰延資産	-		
		純資産合計	97,685,697,327
資産合計	148,116,961,253	負債及び純資産合計	148,116,961,253

連結行政コスト計算書

自 令和06年4月1日
至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	51,011,771,056
業務費用	17,602,256,103
人件費	5,660,408,822
職員給与費	4,266,364,927
賞与等引当金繰入額	371,884,885
退職手当引当金繰入額	11,715,677
その他	1,010,443,333
物件費等	10,852,694,868
物件費	5,850,425,242
維持補修費	358,702,601
減価償却費	4,574,459,512
その他	69,107,513
その他の業務費用	1,089,152,413
支払利息	155,114,073
徴収不能引当金繰入額	90,106,312
その他	843,932,028
移転費用	33,409,514,953
補助金等	24,950,643,039
社会保障給付	8,451,467,654
その他	7,404,260
経常収益	2,519,166,141
使用料及び手数料	2,091,290,618
その他	427,875,523
純経常行政コスト	48,492,604,915
臨時損失	36,738,183
災害復旧事業費	-
資産除売却損	36,738,183
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	151,409,283
資産売却益	4,606,230
その他	146,803,053
純行政コスト	48,377,933,815

連結純資産変動計算書

自 令和06年4月1日
至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	97,784,458,751	135,109,988,641	△ 37,326,529,890	1,000,000
純行政コスト(△)	△ 48,377,933,815		△ 48,377,933,815	
財源	48,326,180,423		48,326,180,423	-
税収等	22,657,464,662		22,657,464,662	
国県等補助金	25,668,715,761		25,668,715,761	
本年度差額	△ 51,753,392		△ 51,753,392	-
固定資産等の変動(内部変動)		△ 288,626,531	288,626,531	
有形固定資産等の増加		4,618,178,658	△ 4,618,178,658	
有形固定資産等の減少		△ 4,590,737,445	4,590,737,445	
貸付金・基金等の増加		3,858,139,481	△ 3,858,139,481	
貸付金・基金等の減少		△ 4,174,207,225	4,174,207,225	
資産評価差額	△ 2,415,658	△ 2,415,658		
無償所管換等	△ 78,830,199	△ 78,830,199		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	40,074,395	3,445,290	36,629,105	-
その他	△ 5,836,570	△ 98,599,040	92,762,470	
本年度純資産変動額	△ 98,761,424	△ 465,026,138	366,264,714	-
本年度末純資産残高	97,685,697,327	134,644,962,503	△ 36,960,265,176	1,000,000

連結資金収支計算書

自 令和06年4月1日

至 令和07年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	52,502,287,036
業務費用支出	19,092,772,082
人件費支出	5,638,241,844
物件費等支出	12,443,851,282
支払利息支出	155,105,238
その他の支出	855,573,718
移転費用支出	33,409,514,954
補助金等支出	24,951,973,040
社会保障給付支出	8,451,467,654
その他の支出	6,074,260
業務収入	48,495,352,242
税込等収入	22,120,293,296
国県等補助金収入	23,879,325,305
使用料及び手数料収入	1,975,133,414
その他の収入	520,600,227
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	103,899,902
業務活動収支	△ 3,903,034,892
【投資活動収支】	
投資活動支出	8,027,480,158
公共施設等整備費支出	4,492,335,097
基金積立金支出	3,526,260,061
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	8,885,000
その他の支出	-
投資活動収入	6,353,288,621
国県等補助金収入	2,250,756,198
基金取崩収入	3,710,060,249
貸付金元金回収収入	6,700,500
資産売却収入	5,333,449
その他の収入	380,438,225
投資活動収支	△ 1,674,191,537
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,499,437,380
地方債等償還支出	1,915,617,560
その他の支出	583,819,820
財務活動収入	8,201,655,771
地方債等発行収入	8,201,655,771
その他の収入	-
財務活動収支	5,702,218,391
本年度資金収支額	124,991,962
前年度末資金残高	4,697,986,854
比例連結割合変更に伴う差額	5,435,934
本年度末資金残高	4,828,414,750
前年度末歳計外現金残高	320,402,177
本年度歳計外現金増減額	40,076,856
本年度末歳計外現金残高	360,479,033
本年度末現金預金残高	5,188,893,783

一般会計等財務書類 注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

一般会計等財務書類 注記

- ② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法
（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金
なし
- ② 徴収不能引当金
未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金
退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。
- ④ 損失補償等引当金
なし
- ⑤ 賞与等引当金
翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

一般会計等財務書類 注記

(8) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 出納整理期間

当会計年度に係る出納整理期間（令和7年4月1日～5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引に含めています。

② 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式によっています。

③ 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。ソフトウェアについても、原則として物品の取扱いに準じています。

④ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として金額が60万円未満であるときに、修繕費として処理しています。ただし、実施した工事の性質により、原状回復と判断された工事については金額によらず修繕費として処理しています。

2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

真栄里地区物流団地開発等特別会計及び真栄里土地区画整理事業特別会計の追加

(2) 表示方法の変更

なし

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

一般会計等財務書類 注記

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

(4) 重大な災害等の発生

なし

4. 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

一般会計等財務書類 注記

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

(3) その他主要な偶発債務

なし

5. 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

①一般会計等財務書類の対象範囲は次の通りです。

一般会計

人材育成事業特別会計

真栄里地区物流団地開発等特別会計

真栄里土地区画整理事業特別会計

②地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

④地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の状況

実質赤字比率	-
連結実質赤字比率	-
実質公債費比率	9.1 %
将来負担比率	22.0 %

⑤利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額

なし

⑥過年度修正等に関する事項

なし

一般会計等財務書類 注記

(2) 貸借対照表に係る事項

①売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円 (0千円)
インフラ資産	0千円 (0千円)
物品	0千円 (0千円)

令和7年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

②地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく将来負担比率の算定要素

標準財政規模	14,102,733 千円
元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	1,120,387 千円
将来負担額	21,231,281 千円
充当可能基金額	4,556,095 千円
特定財源見込額	907,683 千円
地方債現在高等に係る基準財政需要額算入額	12,901,593 千円

一般会計等財務書類 注記

(3) 行政コスト計算書に係る事項

なし

(4) 純資産変動計算書に係る事項

①固定資産形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

②余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(5) 資金収支計算書に係る事項

①基礎的財政収支

△ 632,073 千円

②既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	36,836,239千円	35,865,540千円
財務書類の対象となる会計の範囲に伴う差額	286,566千円	212,503千円
繰越金のうち前年度歳入歳出差引額に伴う差額	△1,209,527千円	0千円
繰越金のうち歳計剰余金処分による基金積立に伴う差額	450,000千円	450,000千円
翌年度繰上げ充用金に伴う差額	0千円	0千円
相殺消去に伴う差額	△270,418千円	△270,418千円
資金収支計算書	36,092,860千円	36,257,625千円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象としているため、歳入歳出決算書と資金収支計算書は一部の特別会計の分だけ相違します。

歳入歳出決算書では繰越金を収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

一般会計等財務書類 注記

③資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支	1,176,427千円
投資活動収入の国県等補助金収入	1,725,365千円
未収債権、未払債務等の増加（減少）	349,999千円
減価償却費	△3,344,891千円
賞与等引当金繰入額	△326,332千円
退職手当引当金繰入額	0千円
徴収不能引当金繰入額	△55,045千円
資産除売却益（損）	△30,105千円
純資産変動計算書の本年度差額	△504,582千円

④重要な非資金取引

なし

全体財務書類 注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・再調達原価

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 原材料、商品等・・・公営企業会計・連結対象団体が採用する評価基準

全体財務書類 注記

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

- ② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金

なし

- ② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

- ③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

- ④ 損失補償等引当金

なし

- ⑤ 賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了

後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

全体財務書類 注記

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

(8) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

一般会計等へ真栄里地区物流団地開発等特別会計及び真栄里土地区画整理事業特別会計の追加

(2) 表示方法の変更

なし

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

(4) 重大な災害等の発生

なし

全体財務書類 注記

4. 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

(3) その他主要な偶発債務

なし

全体財務書類 注記

5. 追加情報

(1) 全体財務書類の対象範囲

全体財務書類の対象範囲については、一般会計等財務書類の対象範囲に下記会計を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
水道事業会計	全部連結	-
下水道事業会計	全部連結	-
農業集落排水事業会計	全部連結	-
糸満漁港ふれあい公園事業特別会計	全部連結	-
土地区画整理事業特別会計	全部連結	-
国民健康保険事業特別会計	全部連結	-
介護保険事業特別会計	全部連結	-
後期高齢者医療特別会計	全部連結	-

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

全体財務書類 注記

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円 (0千円)
インフラ資産	0千円 (0千円)
物品	0千円 (0千円)

令和7年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・再調達原価

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 原材料、商品等・・・公営企業会計・連結対象団体が採用する評価基準

② 販売用土地・・・地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項各号に掲げる方法

連結財務書類 注記

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

② 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

③ 損失補償等引当金

なし

④ 賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

連結財務書類 注記

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、流動性の高い投資をいいます。ただし、一般会計等においては、糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

(8) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

一般会計等へ真栄里地区物流団地開発等特別会計及び真栄里土地区画整理事業特別会計の追加

(2) 表示方法の変更

なし

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

連結財務書類 注記

(4) 重大な災害等の発生

なし

4. 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

(3) その他主要な偶発債務

なし

5. 追加情報

(1) 連結財務書類の対象範囲

連結財務書類の対象範囲については、全体財務書類の対象範囲に下記の団体（会計）を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
南部広域市町村圏事務組合（一般会計）	比例連結	19.43%
南部広域市町村圏事務組合（南斎場）	比例連結	25.14%
沖縄県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	比例連結	3.87%
沖縄県後期高齢者医療広域連合（特別会計）	比例連結	3.83%
沖縄県市町村総合事務組合（退職手当）	比例連結	4.82%
沖縄県市町村総合事務組合（公務災害）	比例連結	3.95%
沖縄県市町村総合事務組合（消防補償）	比例連結	3.30%
沖縄県市町村総合事務組合（災害弔慰金）	比例連結	4.45%
沖縄県自治会館管理組合	比例連結	4.16%
南部広域行政組合（一般会計（事務局運営））	比例連結	25.23%
南部広域行政組合（一般会計（ごみ処理事業））	比例連結	24.70%
南部広域行政組合（一般会計（最終処分場関連））	比例連結	15.87%
南部広域行政組合（一般会計（島尻教育研究所））	比例連結	21.19%
南部広域行政組合（一般会計（視聴覚ライブラリー））	比例連結	20.97%
南部広域行政組合（糸豊環境衛生事業特別会計）	比例連結	51.60%
糸満市土地開発公社	全部連結	-
糸満市社会福祉協議会	全部連結	-

連結の方法は次のとおりです。

- ①一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結対象としています。
- ②地方独立行政法人は、全て全部連結の対象としています。
- ③地方三公社は、全て全部連結の対象としています
- ④第三セクター等は、出資割合が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体は含みます。）は、全部連結の対象としています。

連結財務書類 注記

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円（ 0千円）
インフラ資産	0千円（ 0千円）
物品	0千円（ 0千円）

令和7年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。